

コンピュータ概論 A/B

-- MS-Word --

数学科 栗野 俊一 (TA: 佐藤 淳 [院生 1 年])

2015/12/01 コンピュータ概

伝言

私語は慎むように !!

□ 席は自由です (出席パスワード : 20151201)

○ できるだけ前に詰めよう

○ 教室にきたら直ぐにやる事

▶ PC の電源 On / ネットワーク接続 / Web を参照する / skype を起動する

□ 色々なお知らせについて

○ 栗野の Web Page に注意する事

<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino>

前回(2015/11/24)の内容 (1)

□ 公開鍵暗号方式

- 錠を閉じる鍵(public key)と錠を開ける鍵(private key)が別

- ▶ 錠を閉じる鍵を公開できる (公開できるから public key)

- ▶ 錠を開ける鍵(private key)は、自分だけが秘匿 (秘密鍵/個人鍵)

□ UI (User Interface) : コンピュータを利用するための「操作方式」

- GUI (Graphical UI) : 対象を図示化し、図を対象に操作

- ▶ Windows の標準的な UI (いい加減に指定しても大丈夫)

- ▶ 「直接的操作している(ように見える)」ので、分かり易い / 効率が悪い

- CUI/CLI (Charactor UI/Command Line Interface) : コマンドで「命令」を出す

- ▶ Ubuntu の標準的な UI (きちんと考えて指定しないとこまった事に..)

- ▶ 「間接的に操作する」ので分りににくい / 効率が良い

- 一般的な利用者 (End User) は GUI で十分だが、その先では CUI/CLI が必要

□ 実習 : Kleopatra の利用 (2015/11/17 の資料)

本日(2015/12/01)の予定

□ 講義

- MS-Word の基本

□ 実習

- [演習 1] 講義資料の配布 (skype を使います)

- ▶ 資料は講義外配布禁止です (他の人にコピーしない事 !!)
- ▶ 暗号フォルダ形式(TrueCrypt) です
- ▶ skype で配布します (パスワードは講義中に提示します)

- [演習 2] MS-Word から PDF 形式への変換

- ▶ [File] → [Export] → [pdf 形式で保存]

- [演習 3] 課題の作成

- ▶ 講義資料に従ってパンフレットを作成する
- ▶ 課題は MS-Word で作成し、それを提出 (docx 形式で良い)

今回 (2015/12/01) の課題

- 今回 (2015/11/24) の課題 (前々回の課題)
 - 自分専用の鍵ペアを作成し、「公開鍵ファイル」を提供する
 - ▶ 表題 : 「公開鍵ファイル」の提出
 - ▶ ファイル名 : 20151124-QQQQ.asc (QQQQ は学生番号)
 - ▶ 詳しくは、配布した kurino-pubkey.asc の内容を参照
- 今回 (2015/12/01) の課題
 - 次のファイルを提出しなさい
 - ▶ 表題 : MS-Word でパンフレット作成
 - ▶ ファイル名 : 20151201-QQQQ.docx (QQQQ は学生番号)
 - ▶ 詳しくは、配布した sample-20151201.docx の内容を参照

MS-Word

□ MS-Word とは

○ Document and Word Processing Software - Microsoft Office

- ▶ いわゆる「ワープロ」ソフト(の代表格)
- ▶ MS-Excel と並んで MS 社の定番 (MS-Office の中核)
- ▶ 最新版は Office 2013

○ テキストでない文章の作成/印刷ソフト

- ▶ 文字情報だけでなく、文字の飾り情報なども含まれる
- ▶ vs. サクラエディタ (テキストエディタ)

□ WYSIWYG (ウィジウィグ)

○ What You See Is What You Get

- ▶ 見たまま(ディスプレイ上)が得られる(印刷される)

○ vs. TeX : 文章の形式を指定するので、見た目と印刷には差がある

○ 短い文章の作成には最適

- ▶ 「結果」を見ながら修正できる
- ▶ 思いとおりにレイアウトできる

Word vs TeX

□ Word vs TeX

- 共に Tool の利用目的は「資料」を作る事
- 機能的には被っている：どちらを使うべきか？
 - ▶ 結論は簡単：状況に応じて「使い分け」ろ (工学の発想)
- 得失
 - ▶ 文章の長さ：短い(W) / 長い(T)
 - ▶ 文章の再利用：使い捨て(W) / 使いまわし(T)
 - ▶ 表示への拘泥：細かい事が気になる(W) / おまかせ(T)
 - ▶ 連携：Office で閉じている(W) / 色々な tool と組合せたい(T)
 - ▶ 共有：色々な人(W) / 数学科・学術関係(T)
 - ▶ 数式：あまり使わない(W) / 沢山使う(T)
 - ▶ プログラム：しない(W) / する(T)
 - ▶ 発想：結果で考える(W) / 要因で考える(T)

PDF

□ PDF とは ?

○ Portable Document Format の事

- ▶ 色々な所で利用できる、資料の形式
- ▶ 最終的に印刷する形式 (どこでも同じ形になる事を保証)

○ 形式が公開されている

- ▶ 形式の仕様も公開 : 「独占」されていない
- ▶ 無料の viewer も公開 : adobe reader / 他に沢山

□ PDF File の作り方

○ 基本は Acrobat (有料 !!)

- ▶ PDF の公式編集ソフト

○ 他のツールからも作成できる

- ▶ TeX → dvipdfmx
- ▶ MS-Word

○ 配布形態として望ましい性質 (デファクト・スタンダード)

- ▶ 環境に依存しない
- ▶ 特別な Tool が不要 (tool が free で公開)
- ▶ 編集が(ちょっと)困難 : オリジナル(著作者)の権利を保持したい

演習

□ [演習 1] 講義資料の配布

- 情報センターの公開講座(Office 2010 用)の配布資料

- ▷ (C) 2010-2015 恵藤浩朗 先生 (海洋建築学科) / **講義外配布禁止**

- ▷ 配布 : 暗号フォルダ形式(TrueCrypt)

- ▷ パスフレーズ : skype で講義中に提示します

- ms-word-2013.pdf (上記の劣化版)

- ▷ 内容の一部を抽出し、図を MS-Office 2013 の物に入れ替えた

□ [演習 2] MS-Word から PDF 形式への変換

- [ファイル] → [エクスポート] → [pdf 形式で保存]

- ▷ PDF 形式のファイルを作成できる

□ [演習 3] 課題の作成

- 講義資料に従ってパンフレットを作成

□ [課題提出]

- 20151201-QQQQ.docx (QQQQ は学生番号) を提出

- ▷ 配布資料 (sample-20151201.docx) を参照の事